

〇〇水産 御中

**養殖業ビジネス評価書（例）
（貝類養殖）**

2021年〇月〇日

目次

1. 背景と目的
2. 調査プロフィール
3. 総評（エグゼクティブサマリ）
4. 評価結果の一覧
5. 詳細評価結果
6. まとめ

1. 背景と目的

[背景]

我が国周辺水域の水産資源の漁獲が不安定な中、魚食を好む日本人が安定して水産物を楽しむためにも、計画的で安定的に生産できる養殖に対する期待は高く、国の内外を問わない関心の高まりから養殖業を成長させる好機を迎えている。

こうした背景を踏まえ、国は、国内外の需要を見据えて戦略的養殖品目を設定し、生産から販売・輸出に至る総合戦略を立てたうえで、養殖業の振興に本格的に取り組むこととし、令和2年7月に「養殖業成長産業化総合戦略」を策定した。

地域金融機関において、養殖業を営む事業者の事業内容や成長可能性などを適切に評価（事業性評価）し、解決策を検討・提案して必要な支援・資金供給を行うことが求められている。

[目的]

本評価により、〇〇様の養殖事業の維持・成長可能性の評価、ひいては金融機関における養殖事業の事業性評価及び融資判断の一助とする。

2. 調査プロフィール

- 取扱対象種 : カキ

- 評価実施日 : 2021年〇月〇日

- 評価に際して開示いただいた主な資料
 - 決算書（3期分）
 - 資金繰り表
 - 作業日誌
 - 仕入伝票
 - 出荷管理簿
 - 採算管理資料

3. 総評 (エグゼグティブサマリー)

総合評価結果

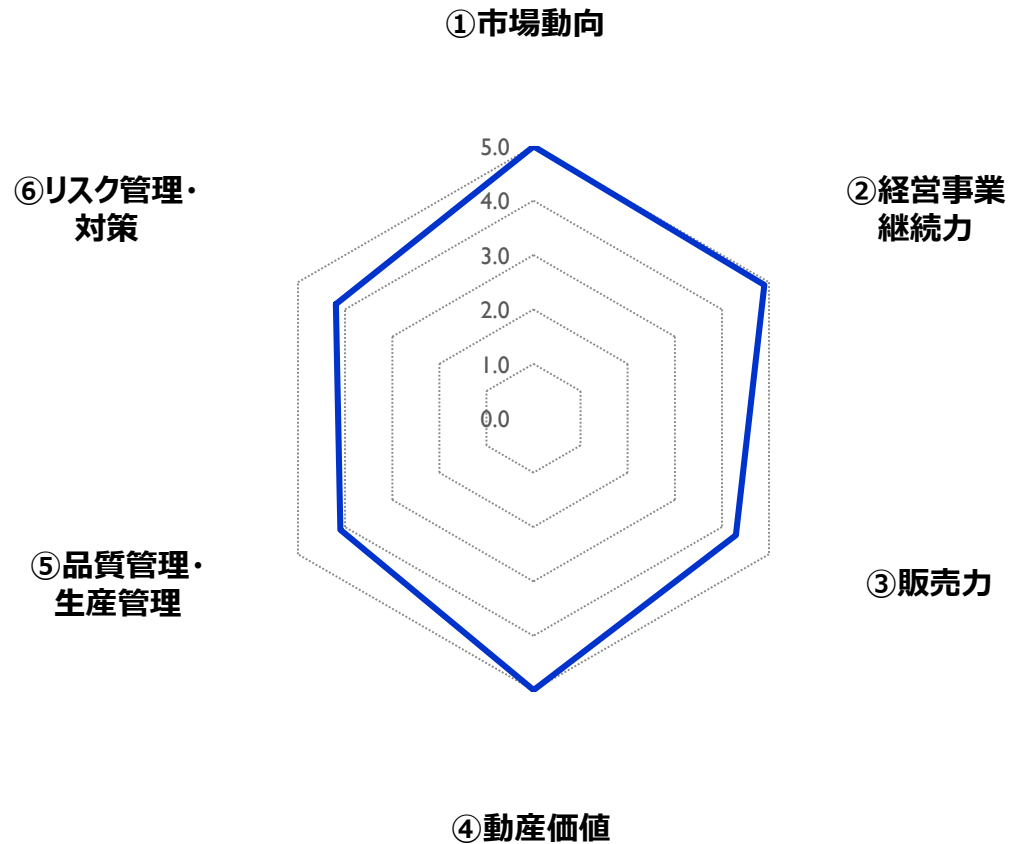
評価合計 **89**点 (100点満点換算)
(160点中143点)

評価項目平均 **4.5**点/5点

自社採苗から養殖まで一括で取り組んでおり、40年以上事業継続。
若手社員の採用も行い、十分な養殖・加工スタッフは配置しており、
物量・出荷能力も高い。
品質・衛生管理、リスク管理にも十分な取り組みがみられる。

評価概要 <項目平均5点満点>

- ①市場動向 <5.0点>
- ②経営事業継続力 <4.9点>
- ③販売力 <4.3点>
- ④動産評価 <5.0点>
- ⑤品質管理・生産管理 <4.1点>
- ⑥リスク管理・対策 <4.2点>



4. 評価結果の一覧

No	大項目	No	中項目	配点	評価点	平均点
1	市場動向	1-1	過去・現在・将来の動向	5	5	5.0
		1-2	市場規模	5	5	
2	経営事業継続力	2-1	養殖事業計画・経営基盤	5	5	4.9
		2-2	漁場環境	5	5	
		2-3	養殖事業継続実績	5	5	
		2-4	事業収支管理の実施	5	5	
		2-5	経営者の経営能力・手腕	5	5	
		2-6	人材育成	5	5	
		2-7	事業の将来性・可能性	5	4	
3	販売力	3-1	販路先の確保	5	5	4.3
		3-2	販路拡大への取組み	5	3	
		3-3	商品開発力・加工販売力	5	5	
4	動産価値	4-1	換金容易性	5	5	5.0
		4-2	在庫バランス	5	5	
		4-3	物量	5	5	
		4-4	将来予想価格	5	5	
5	品質管理・生産管理	5-1	稚貝	5	5	4.1
		5-2	付着生物の除去	5	5	
		5-3	養殖施設の管理	5	4	
		5-4	品質管理全般	5	5	
		5-5	生産管理全般	5	5	
		5-6	衛生管理全般	5	4	
		5-7	浄化	5	5	
		5-8	加工・出荷能力	5	5	
		5-9	認証取得	5	0	
		5-10	知財取得	5	3	
6	リスク管理・対策	6-1	天災回避対策	5	5	4.2
		6-2	病気対策	5	5	
		6-3	環境変化	5	5	
		6-4	共済加入有無	5	5	
		6-5	損害保険加入有無	5	0	
		6-6	市場リスク	5	5	
				160	143	4.5

100点換算： 89

各項目において、以下のとおり評価

0・・・何もしていない、1・・・ほんの一部分を実施（十分でない）、3・・・養殖業として基本的な取組みを実施又は問題ない状況

5・・・特別に十分な取組みを実施又は良好な状況

5. 詳細評価結果 ①市場動向

評価結果

評価合計 **10点**/10点

評価項目平均 **5.0点**/5点

- ・当該養殖種の需要トレンドは10年間で横這い増加傾向にあり、市場ポテンシャルも高い

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
1	市場動向	1-1	過去・現在・将来の動向	5	・需要トレンドは10年間で横這い増加傾向
		1-2	市場規模	5	・カキの市場ポテンシャルは高い

5. 詳細評価結果 ②経営事業継続力

評価結果

評価合計 **34点/35点**

評価項目平均 **4.9点/5点**

養殖環境にも恵まれた立地にあり、かつ、人材育成・整備を十分に実施しているなど事業継続力は高い

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
2	経営事業 継続力	2-1	養殖事業計画・経営基盤	5	・採苗から養殖まで一括管理している
		2-2	漁場環境	5	・一級河川に挟まれ、さらに原生林の残る〇〇からは直接山水が流れ込み、カキの養殖環境としては最適の漁場と言える
		2-3	養殖事業継続実績	5	・40年以上事業継続実績あり
		2-4	採算管理の実施	5	・養殖担当者は30名以上在籍し、事業規模も大きく、かつ事業採算も成り立っている状況
		2-5	経営者の経営能力・手腕	5	・かきの養殖から加工・販売まで一貫して取り組んでいる
		2-6	人材育成	5	・若手の人材確保も出来ており、品質管理・衛生管理も徹底している
		2-7	事業の将来性・可能性	5	・漁場環境、市場、生産、管理、販売体制が構築されており、安定感あり

5. 詳細評価結果 ③販売力

評価結果

評価合計 **13点**/15点

評価項目平均 **4.3点**/5点

販路の確保と合わせて、ブランディングにも取り組んでおり販売力は高い。
販路拡大へのさらなる取組みが課題。

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
3	販売力	3-1	販路先の確保	5	・漁業協同組合だけでなく、量販店、スーパー、自社店舗での販売をしている
		3-2	販路拡大への取組み	3	・インターネットでの販売も要検討
		3-3	商品開発力/加工販売力	5	・ブランド名として「〇〇かき」と「〇〇王」のカキを販売している

5. 詳細評価結果 ④動産価値

評価結果

評価合計 **20点/20点**

評価項目平均 **5.0点/5点**

動産としての価値（換金性）は高く、在庫バランス・物量とも十分確保されており、将来においても事業価値の維持・向上が見込まれる

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
4	動産価値	4-1	換金容易性	5	・カキの需要や市場規模から換金性は極めて高い
		4-2	在庫バランス	5	・販売先のニーズに応じた数量の確保を実施している
		4-3	物量	5	・販売先のニーズに応じた数量の確保を実施している
		4-4	将来予想価格	5	・実数は未定であるが偏差を勘案すると高評価が想定される

5. 詳細評価結果 ⑤品質管理・生産管理

評価結果

評価合計 **41点/50点**

評価項目平均 **4.1点/5点**

特に、衛生管理は十分な取組みを実施しており、品質管理・生産管理全般においても組織的に取り組んでいる

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
5	品質管理・ 生産管理	5-1	稚貝	5	・自社採苗にも取り組んでいる
		5-2	付着生物の除去	5	・工場に運ばれたカキは、洗浄装置による洗浄を実施 この間、カニや殻などの付着物を人の目で見取り除いている
		5-3	養殖施設の管理	4	・「垂下連」式養殖の施設管理を適正に実施
		5-4	品質管理全般	5	・検査室にて一般細菌、大腸菌などの自主検査を毎日実施
		5-5	生産管理全般	5	・養殖担当者は日々の作業を日誌に記載
		5-6	衛生管理全般	4	・県の公的機関による検査も定期的に行われ、ノロウイルス(SRSV)の検査も週1回実施
		5-7	浄化	5	・水揚げされたばかりのカキは、海で共存するゴカイ、ケヤリ虫等や泥が付着おり、清浄海水で十分に機械洗浄している。さらに洗浄海水プールにて一昼夜浄化している
		5-8	加工・出荷能力	5	・加工場も50名以上の在籍者がおり、カキの大手企業である
		5-9	認証取得	0	・特になし
		5-10	知財取得	3	・「〇〇王」の商標登録を検討中

5. 詳細評価結果 ⑥リスク管理・対策

評価結果

評価合計 **25点/30点**

評価項目平均 **4.2点/5点**

天災や病気への対策を講じ、共済にも加入していることから、リスク対策は講じられている。ただし、万が一のリスク発生に対して十分な備えをしておくには、既契約分の共済・任意保険でカバーできない損失に対する備えも検討することが望ましい。

No	大項目	No	中項目	得点	コメント
6	リスク管理・対策	6-1	天災回避対策	5	・台風等の場合は移動式で回避している
		6-2	病気対策	5	・検査室にて一般細菌、大腸菌などの自主検査を毎日実施 ・県の公的機関による検査も定期的に行われ、ノロウイルス(SRSV)の検査も週1回実施
		6-3	環境変化	5	・周辺環境に影響が無いように比較的ストレスがかかりにくい深い場所で養殖をしている
		6-4	共済加入有無	5	・共済・積立プラスに加入
		6-5	損害保険加入有無	0	・特に無し
		6-6	市場リスク	5	・〇〇地域のカキは全国の約60%以上のシェアを保有している

6. まとめ

- 本養殖事業発展に向けては、さらなる衛生管理・品質管理と販路拡大への取組みを行うことで事業価値を高める余地あり。
- 一方、リスクに対する備えにおいては最悪シナリオを想定した備えを検討すれば、金融機関からみて資金回収の確実性がより高まる。

(凡例) セグメント

- I 強みを活かして機会を勝ち取るためには？
- II 弱みを改善して機会を獲得するための施策は？
- III 強みを活かして、脅威を機会に変える施策とは？
- IV 弱みから最悪のシナリオを避けるためには？

